

柳光和博(元WBC世界スーパーフライ級3位・元同級東洋太平洋王者・元同級日本王者) J T A ボクシング技術指導顧問就任！

プロキックや異種格闘技戦を目指す J T A 会員は 蒲田 R K ボクシングファミリー・ジムへ！

2010年12月22日、河明生宗師範の要請により

柳光和博氏(元WBC世界スーパーフライ級3位・元同級東洋太平洋王者・元同級日本王者)が
日本テコンドー協会のボクシング技術指導顧問に就任しました。

河 明生宗師範談

「日本跆拳道は技術的にも温故知新で進化しなければなりません。
伝統的な武道の修練である蹴武の型、約束組手、移動稽古等を基本としながらも、
客観的な強さを追求すべく、他の武道や格闘技の格闘技術の長所を学ばなければなりません。

手技の攻撃技術に関しては、ボクシング以上のものではありません。
日本跆拳道の命である蹴美を輝かせるためにも、ボクシング技術の修得は不可欠です。
とくに、将来、プロのリングや異種格闘技戦を目指している J T A 戦士は学ばなければなりません。

問題はどのような指導者から学ぶべきか。

私は、かねてよりアマチュア・ボクシング、とくに名門の部活で修練したボクシング技術を基礎に
プロボクシング界に進み、プロボクシングの技術でブラッシュアップされて活躍した経験を有する
指導者から学ぶべきだと考えていました。それが柳光和博君です。

アマチュア・ボクシング出身のプロボクサーはボクシング技術の基礎を叩き込まれていることから
動きに無駄がなく、蝶が舞い蜂が刺すがごとく戦うテクニシャンが少なくありません。
これは突きと蹴りの違いこそあれ、蹴り技の基礎を涵養することで蹴美(華麗で美しく力強い蹴り)
を目指す我が J T A の組手スタイルと相通じるものがあります。

また、名門のアマチュアボクシング部活で学んだ選手は、選手の育て方を体験的に学んでいます。
プロのジムの場合は、基本的には才能のある選手に特化してトレーナーが指導することが多い。
アマチュア・ボクシングの場合は、ボクシングを通じた人間形成も目的にしていることから
将来、世界チャンピオンや日本チャンピオンになれそうな才能のある選手だけではなく、
才能が足りない選手に対しても適切な指導を心がけ、
本人が辞めなければそれ相応のレベルにまで到達させます。
このあり方も、優れた武道道場に相通じるものがあると考えます。

柳光君は、東京都高校ボクシング部時代、高校国体チャンピオンとなりました。
大学ボクシング界の雄・近畿大学ボクシング部においてアマチュアボクシングの技術を涵養した後、
プロの名門・渡辺ボクシングジムにすすみ、プロの技術でブラッシュアップし、
東洋太平洋王者と日本王者を奪取し、WBCの世界戦にまで挑戦した名選手です。
引退後は、ボクシングの指導者となって選手を育成。
プロボクシングライセンス試験では100%の合格率を誇っています。
数年後には、日本王者を輩出していることでしょう。
柳光君とはご縁があり、2年ほど接しましたが、人柄も良く、まじめで指導に対する熱意を観じます。

K - 1等のプロキックや異種格闘技戦を目指すJTA会員は、
蹴美で勝つためにも蹴り技を生かすためのボクシングテクニックを柳光君から学ぶべきです。
尾崎圭司も鈴木雅弘も彼の熱い指導を受け、ボクシング技術を向上させました。

幸運なことに、日本跆拳道発祥の地・東京城南六郷道場近隣の蒲田に
柳光君が会長を務めるRKボクシングファミリー・ジムが平塚から移転してきました。
是非、一流のボクシングテクニックを柳光君から学んで欲しいと思います」

記

名 称 R K ボクシングファミリー (日本プロボクシング協会加盟)

会長・指導 柳光和博 (りゅうこう・かずひろ)

ジム住所 東京都大田区蒲田5 - 20 - 7 K520ビル3F
(JR蒲田駅 徒歩5分 京急蒲田駅 徒歩7分)

電話 03 - 6424 - 4422

練習時間 毎日14:00 ~ 23:30

その他 現在、グランドオープン入会キャンペーン実施中